

あいさつの心

厳寒の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は1月3日に大雪が降り、何やら大波乱を予感させる1年でもあります。

今月のお題はあいさつでいきます。



専務取締役 吉田治伸

『おはようございます』『こんにちは』 こうした簡単なあいさつをしない社員がいる。困ったものだ」とある人が語ってくれました。あいさつをしないのは、もちろん悪気があってのことではないのかもしれませんが、他の人から見ればやはりいい気持ちにするものではありません。

『あいさつ』とは、もともと『心を開く』という意味があるそうです。

まず、自分から相手に向かって心を開いていく。『私のことをもっと知って下さい。』そしてさらに『あなたのことをもっと深く知りたい』という気持ちが、すなわち『あいさつ』なのです。

ところが、『あいさつ』をしないということは、『あなたには関心がありません』という態度になっているというわけです。『あなたには関心がありません』という態度では、どんなに好意的に思ってくれている人でも、当然気分を害してよくは思わなくなるでしょう。

たった一言、『おはようございます』が言えるか言えないかで、人間関係は微妙に変わってくるのだという事を、心に留めておいて下さい。

形のないサービスを売り物にする私たちですが、今年は形を見せるサービスの年にしたいと思っています。